



平成27年12月号（第235号）



- 12月は地球温暖化防止月間・
大気汚染防止推進月間ですP.2
- かがやけ☆あいちサスティナ研究所の研究成果発表P.3
- 「Let's エコアクション in AICHI」を開催しましたP.4



かがやけ☆あいちサスティナ研究所 研究成果プレゼンテーション



Let's エコアクション in AICHI
(オープニングセレモニー)



第2回三河湾大感謝祭を開催しました



その他 環境情報が満載P.5~8



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



12月は地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間です

12月は、地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間です。私たちが日ごろ使用しているエアコン等の電化製品や自動車は生活を便利してくれる反面、エネルギーを大量に消費し、地球温暖化や大気汚染を引き起こす原因の一つとなります。

このため、愛知県では、県民一人ひとりにエコライフの実践を呼びかける県民運動「あいちエコチャレンジ21」を展開しています。

この月間をきっかけに、毎日の生活の中で、一人ひとりが自分にできることから行動しましょう。

あいちエコチャレンジ21～家庭でできる取組～

- 重ね着などの工夫で、暖房温度は19℃を目安に設定しましょう。
- 照明やテレビなどの電源はこまめに切りましょう。
- お風呂は間を置かずに続けて入りましょう。
- シャワーや水道はこまめに止めましょう。
- 近いところは徒歩・自転車、遠いところは鉄道・バスで出掛けましょう。
- 不要なアイドリングや、急発進、急加速を避け、エコドライブを実践しましょう。

【地球温暖化とは】

地球温暖化は、私たちの生活や産業活動から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが原因となって、大気や海水の温度が上昇するという現象です。

このまま進むと将来、世界中で異常気象や生態系への影響、農業への被害など、人類にとって地球規模の脅威となる深刻な問題であり、国際社会でも大きな課題となっています。

【冬季の大気汚染】

冬は、大気が安定して大気汚染物質が拡散しにくくなるため、地上付近の空気が一年で最も汚れやすい季節です。

特に12月は、年末の繁忙期を迎えて、自動車の交通量や暖房機器の使用が増加するため、大気汚染物質の濃度が高くなります。

【県の取組】

県では、月間中、工場・事業場への立入検査の強化、温室効果ガス・大気汚染物質の排出抑制指導及び各種広報媒体を通じた啓発活動を実施します。

大気環境課 規制グループ

電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

大気環境課地球温暖化対策室 温暖化対策グループ

電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)

大気環境課地球温暖化対策室 自動車環境グループ

電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

連載⑧ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

エコリンクあいちに日記を投稿している「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動を紹介します。

同研究所は、パートナー企業から環境の取組に関する課題を学生に提示し、その解決プランを学生が研究し、パートナー企業へ提案するものです。

○ チーム・ソニーイーエムシーエスの活動

ソニーイーエムシーエスでは、「ソニーの森」における在来種の苗木を育てる活動や、フクロウの棲む森づくりなど様々な取組を行っています。学生はこれらの活動を社員だけでなく、家族、地域、そして自分達学生も一緒になって実施することで、取組を

活性化する方策を検討し、解決策を提案しました。

詳細はFacebookをご覧ください。<https://www.facebook.com/kagayaken>



ソニーの森で現地調査する学生



みんなで Let's エコアクション!
あいちエコアクション広報部



環境政策課 企画・広報グループ

電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)



愛知県では、昨年11月に開催された「持続可能な開発のための教育 (ESD) ユネスコ世界会議」の成果である「あいち・なごや宣言」を踏まえ、「環境首都あいち」の実現に向けて、持続可能なあいちの担い手を育成する「人づくり」を推進しています。

【かがやけ☆あいちサスティナ研究所とは】

県内の大学生を対象に、近い将来、地域の担い手となる学生が、グローバルな視点を持って、継続的にエコアクションを実施していくプログラムとして、大村知事を所長とした「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を立ち上げました。

平成27年度は、(株)中日新聞社の飯尾歩^{いひいおあゆみ}さんを顧問に迎え、パートナー企業5社から環境面での取組に関する課題を提示してもらい20名の研究員が4名1チームとなって、企業の現場での調査や企業の担当者の方との検討を経て、解決策を研究しました。

【企業環境活動研究について】

研究員は8月から10月まで研究活動を実施し、各パートナー企業に赴き、企業の環境活動について、現場で調査・研究しました。これにより、研究員は、各企業の取組に対する理念や、担当者の高い環境意識に大いに刺激を受けました。

【研究成果プレゼンテーションについて】

10月31日(土)には、各パートナー企業の代表者に対して、各チームの研究成果をプレゼンテーションしました。学生ならではの意欲的な解決策が提案され、各企業から「今後も研究員とともに、提案の実現に取り組みたい」などの高い評価を得ることができました。



研究成果プレゼンテーション

＜検討課題と研究員が提示した解決策＞

(五十音順、敬称略)

パートナー企業	企業が提示した課題	学生が提示した解決策
アイシン精機(株)	「アイシン環境学習プログラム」をさらに効果的にする方策の検討。	プログラムの効果をより正確に把握するための児童への個別ヒアリングや、児童が継続的にエコ活動を実践するためには、教員の環境意識の向上が必要であると分析し、教員の環境に関する知識と環境意識の醸成を図る教員研修を提案。
ソニーイーエムシーエス(株)	環境配慮企業としてのイメージアップ戦略についての検討。	工場内にある「ソニーの森」において、新入社員を森の案内人として育成するプロジェクトや、学生が中心となって実施する生き物マップづくりや、幸田町役場と連携した植樹活動等により、社員、学生、地域が連携した取組を提案。
東邦ガス(株)	エネルギー事業者として、最適な環境活動についての検討。	同社の環境活動経験者による「エコティなクラブ」と、大学生達による「エコティなサークル」という2つの団体を組織し、これらの団体が東邦ガスの環境活動に関する企画・運営・広報に積極的に参加する仕組みを提案。
(株)三井住友銀行	環境配慮企業を後押しする新たな金融サービスについての検討。	地域資源を活用した環境配慮型モノづくりを行っている県内の中小企業を対象に、学生が製品デザインなどのサービスを提供する融資特典「あいちエコもの+(プラス)」を提案。
ユニーグループホールディングス(株)	環境配慮商品「eco! on」の開発及びPR方法についての検討。	消費者と従業員の「eco! on」の認知度が低いと分析し、従業員による商品のキャッチコピーコンペ、学生による商品のパッケージデザインコンペ、消費者によるコンペの投票、商品PR動画の作成を提案。

※研究成果の詳細については、公式Facebookへ



〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕

「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました

愛知万博、COP10、ESD ユネスコ世界会議での取組を通じて高まった県民の皆さんの環境意識を、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の実践へとつなげていただくため、11月14日(土)と15日(日)の2日間、アスナル金山、金山総合駅連絡通路橋・南口で「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました(14日(土)はアスナル金山のみで開催)。

オープニングセレモニーには、大村知事が出席し、エコ川柳の優秀賞受賞者への表彰式、かがやけ☆あいちサスティナ研究所の修了式のほか、「あいちエコアクション広報部」のOS☆Uや県民の皆さんと一緒にエコアクションの実践を呼びかける「あいちエコアクション宣言」などを行いました。



エコ川柳表彰式



あいちエコアクション宣言

また、「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を今回のイベントに併せて開催し、大村知事と歌手の早見優さんによるトークショーなどを行いました。トークショーでは、早見さんからハワイで取り組んだエコ活動や日常生活の中で取り組んでいる環境に配慮した行動をご紹介いただき、大村知事とともに来場者の皆さんへ3R(リデュース、リユース、リサイクル)などのエコアクションの重要性を呼びかけていただきました。



大村知事×早見優トークショー



ステージでは、ガチャピン・ムックなどによるエコ実験ショー、「あいちエコアクション広報部」のOS☆Uによるライブやエコアクション活動報告、お掃除アイドル「名古屋クリアーズ CLEAR'S」のパフォーマンスステージ&清掃活動、あいちエコアクションのイメージキャラクター



ガチャピン・ムックなどによるエコ実験ショー

「あいちエコフェアリーⅢ」に扮した「エ♡コスプレ隊」のファッションショーやダンスステージ、環境活動に取り組む団体(NPO、企業等)による活動発表などを通じて、エコアクションに関する啓発を行いました。

各ブースでは、環境活動に取り組む団体による展示、ワークショップ、物販などを行いました。この2日間で約2万7千人の方々が来場し、来場者の皆さんに



OS☆Uによる「あいちエコアクション広報部」活動報告

は楽しみながら「エコアクション」への理解を深め、体験していただきました。



エコアクションを楽しく体験できるワークショップ



来場者の「エコアクション宣言」でいっぱいになった「エコアクションアース」

県では、今回のイベントや様々な取組を通じて、皆さんの日常生活の中で、「エコアクション」の輪が大きく広がっていくよう、引き続き推進していきます。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

※ごみゼロ社会推進あいち県民大会については以下
資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

まなびや
もりの学舎 冬の特別イベント を実施します!

愛知県では、愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」において、親子で自然に親しんでもらうため、冬の特別イベントとして工作教室を開催します。

参加費は無料ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1 開催日時

12月23日(祝・水)、26日(土)

① ちびっこクラフト 10:30~11:50

② おやこクラフト 13:30~15:30

2 対象、募集人数及び内容

① ちびっこクラフト

幼児(3~6歳)とその保護者
 各回20名程度(保護者1名につき幼児2名まで)
 来年の干支の「サル」のオブジェを作ります。



サルのオブジェ

② おやこクラフト

小学生とその保護者
 各回20名程度(保護者1名につき小学生2名まで)
 ※小学生未満の同伴は不可
 トンビカイト(鳥の形をした凧)を作ります。



トンビカイト

3 開催場所及び申込・問合せ先

もりの学舎

電話:0561-61-2315 FAX:0561-61-2328

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000088088.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
 あいち環境学習プラザ
 電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

あえる
AEL ネット環境学習スタンプラリー開催中!



愛知県内の環境学習施設等 148ヶ所において、「あえる AEL ネット*環境学習スタンプラリー」を開催中です。

対象施設等への来館、講座・イベントへの参加によりスタンプを集めて応募いただくと、スタンプを集めた数に応じて、抽選で図書カードなどの記念品をプレゼントします。

1 開催期間

平成28年2月29日(月)まで

2 内容

ECOをテーマとした講座や見学会、観察会のほか、楽しい工作などを実施する施設等もあります。施設・講座によっては、予約が必要なものや有料のものもあります。



スタンプ帳

3 記念品

★A賞~C賞:いずれも図書カード

A賞:【スタンプ9個】5,000円分...抽選で5名様

B賞:【スタンプ6個】3,000円分...抽選で20名様

C賞:【スタンプ3個】1,000円分...抽選で100名様

★Wチャンス賞:惜しくもA~C賞に当たらなかった方の中から、抽選で200名様にスタンプラリー参加施設のオリジナルグッズをプレゼントします。

4 応募方法・締め切り

専用応募はがき又は応募用紙にスタンプを集め、平成28年3月7日(月)【必着】までにAEL ネットスタンプラリー事務局(あいち環境学習プラザ)へ郵送してください。

5 その他

詳細はWebページをご覧ください。

(http://aichi-eco.com/ael_stamprally/)

環境活動推進課 環境学習グループ
 電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

※AEL ネットとは、「愛知県環境学習施設等連絡協議会【Aichi Environmental Learning Network】」の略称で、愛知県内の環境学習施設等が協力して、地域における環境学習の推進を図るために設置された環境学習ネットワークです。

あいち地球温暖化防止戦略・ あいち自動車環境戦略推進大会を開催します

「あいち地球温暖化防止戦略 2020」及び「あいち自動車環境戦略 2020」の施策を県民、事業者の皆さんに広く周知し、その推進を図るため、12月18日(金)に、あいち地球温暖化防止戦略・あいち自動車環境戦略推進大会を中電ホール(名古屋市東区東新町)で開催します。是非ご参加ください。

この大会では、自動車エコ事業所認定証の授与式、あいちCO₂削減マニフェスト2020認定証の授与式及びあいち緑のカーテンコンテスト優秀事例の表彰式を行うほか、「低炭素社会づくりフォーラム」として、東京工業大学特命教授^{かしわぎたかお}柏木孝夫さんから「日本のエネルギー・環境戦略」をテーマにご講演をいただいた後、トヨタ自動車(株)、中部電力(株)、東邦ガス(株)の各社及び



柏木孝夫さん

豊田市、愛知県が参加し、「低炭素社会を牽引する愛知」をテーマにパネルディスカッションを行います。

参加にあたっては、次のWebページから参加申込書をダウンロードし、FAX又はEメールにより12月11日(金)までにお申し込みください。

(入場無料・先着順・定員400名です。)

(<http://www.pref.aichi.jp/0000088069.html>)

申込先：愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室

FAX：052-955-2029

Eメール：ondanka@pref.aichi.lg.jp

大気環境課地球温暖化対策室
温暖化対策グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)
自動車環境グループ
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)

第2回三河湾大感謝祭を開催しました

愛知県では、三河湾への関心を高めるため、10月18日(日)に碧南市の大浜漁港において第2回三河湾大感謝祭を開催しました。

開会セレモニーでは、^{もりおか}森岡副知事が^{きんぼら}金原碧南市副市長や来場者とともに、三河湾の環境再生に向けてガンバローコールを行いました。

また、三河湾のアサリを食材とした「ガマゴリうどん」の無料試食会や、^{がく}海洋楽研究所の^{はやしまさみち}林正道さんによる海の生きものロボットの实演など、楽しい企画を通じて多くの方に三河湾の魅力を満喫していただきました。



海の生きものロボットの实演

【第2回三河湾大感謝祭の概要】

主催：愛知県

共催：碧南市

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ

参加人数：約5,000名

区分	開催内容
海のステージ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会セレモニー ○ 三河湾環境再生パートナーシップ・クラブの活動発表 ○ 碧南高等学校吹奏楽部の演奏 ○ komaki crewのキッズダンス ○ 三河湾環境クイズ大会 等
海の生きもの	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロボットを通じて海を知ろう！ ○ 海の生きものを知ろう！
海の幸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ガマゴリうどん」の無料試食会 ○ 三河湾を味わおう！海の幸の出店
海のブース	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員によるブース出展
海のアート	<ul style="list-style-type: none"> ○ ～いいね！三河湾～ ○ 美SEA(うつくしい)フォトコンテスト ○ 海の絵画展
海の体感	<ul style="list-style-type: none"> ○ クルージング体験

水地盤環境課 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「あいち緑のカーテンコンテスト」の優秀事例を決定しました

愛知県では、エコライフの実践を呼びかける県民運動「あいちエコチャレンジ21」の一つとして、「緑のカーテン」の普及を図るため、平成21年度から「あいち緑のカーテンコンテスト」を実施しています。

今年度は139事例の応募があり、その中から部門ごとに優秀事例を決定しました。

1 住宅部門

○ 最優秀賞

新田 順義さん（東海市）



雨水の利用や、温度・電気使用量測定による効果検証など、省エネを意識して育成しています。

○ 優秀賞

林 年和さん（豊田市）

小林 かつ子さん（豊橋市）

2 幼稚園・保育園部門

○ 最優秀賞

刈谷市立富士松北幼稚園



実のなる植物を多種類組み合わせ、子ども達が興味を持って育てられるよう工夫しています。

○ 優秀賞

名古屋市山下保育園

江南市立布袋保育園

3 学校部門

○ 最優秀賞

豊田市立^{わかばやしにし}若林西小学校



生徒が地域の方と協力して育てたカーテンを環境学習等に活用し、環境意識の向上に役立っています。

○ 優秀賞

豊田市立^{たけむら}竹村小学校

豊田市立^{まなばやし}前林中学校

4 事業所部門

○ 最優秀賞

^{ちゅうぶこくさいくうこう}中部国際空港(株)（常滑市）



半田農業高校と共同での取組。植物を紹介するQRコードにより緑のカーテンをPRするなど、独自の工夫をしています。

○ 優秀賞

(株)デンソー ^{ぜんみょうせいさくしよ}善明製作所（西尾市）

トヨタ自動車(株) ^{みょうちこうじょう}明知工場（みよし市）

Web ページでは、優秀事例の詳細を見ることができます。皆さんもこれら優秀事例を参考に、ご家庭や事業所で、緑のカーテンに取り組んでみませんか。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000088096.html>)



連載 「生態系ネットワーク形成の取組紹介（４）」 ～新城設楽生態系ネットワーク協議会～

1 はじめに

新城設楽地域は、茶臼山、鳳来寺山といった山地や、豊川水系といった流域など豊かな自然に恵まれた生物多様性のポテンシャルが高い地域です。

しかし、高い人工林率に加え、人口減少や少子高齢化が進んでいるため、山の手入れを行う人手不足等により山林等の管理が難しくなっており、健全な森林生態系の保全・創出に向けた取組を進めることが求められています。

このため、本地域に関係する大学、企業、NPO、行政など多様な主体が集まり、平成25年に新城設楽生態系ネットワーク協議会(以下「協議会」という。)を立ち上げ、様々な取組や啓発事業を進めています。

2 健全な森林生態系の保全に向けた取組

新城設楽地域の森は、その多くが針葉樹の人工林(スギ・ヒノキ林)となっていますが、生物多様性の観点から見ると、人工林は、見た目は緑豊かな森に見えても、生きもののエサとなる花や実が少なく、生きものの種類が少ないといわれています。

このような森を生物多様性豊かな森にするため、協議会では、平成26年度から奥三河での植樹体験バスツアーを開催し、針葉樹を伐採した土地に広葉樹を植樹する取組を進めています。



県民参加による植樹バスツアー

3 間伐材積み木を活用した啓発事業

協議会が行っている針葉樹林の広葉樹林化による健全な森林生態系の保全活動について、県民の皆さんの理解を得て、広く協力していただくため、針葉樹の間伐材で製作した積み木を各種イベントで活用し、啓発を行っています。



積み木を活用したイベントでの啓発

今回は東三河生態系ネットワーク協議会の取組を紹介します。

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成27年12月7日発行(第235号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

いよいよ冬の足音が本格的に近づいてきました。我が家で飼っているヘビも、そろそろ冬眠に向けておとなしくなり、エサもあまり食べなくなりました。

さて、「エコリンクあいち」では、OS☆Uのドニチエコきっぷがもらえるエコポイントダービーを実施中です。エコアクションに関する日記を投稿して、ドニチエコきっぷをゲットし、皆さんは寒さに負けず活発に活動しましょう！ (企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部Webページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。